

空き店舗 再びにぎわい

河辺 地元住民ら演奏会

秋田市河辺で長年住民に親しまれ、昨年12月に閉店した飲食店「戸島鯉クラブ」で3日、空き家コンサートが開かれた。空き店舗を地域コミュニティの場として使ってもらおうと、空き家や店舗の貸し借りなど

NPO法人、利用橋渡し

を支援するNPO法人住まい安心サポート秋田(佐々木義文理事長)が初めて企画。地元住民ら約50人が大正琴やスコップ三味線などの演奏を楽しんだ。



会場となった空き店舗の「戸島鯉クラブ」

戸島鯉クラブは1973年などに利用され、住民に愛さに創業。宴会や会合、結婚式に利用されてきたが、経営してきた岡部正高さん(76)が高齢となり、後継者もないことから、昨年店を閉じた。

同法人の佐々木理事長(67)は河辺出身で、「未利用のままにしておくのはもったいない。再び地元住民が集える場として利用できるか」と活用策を検討。知人に呼び掛けてコンサートを企画した。

ステージでは地元住民でつくる演芸団体「河辺芋んこクラブ」が民謡や三味線などを披露。河辺出身で大正琴研修院秋和流家元の中村琴笙さん(67)と、教室の生徒もボランティアで大正琴を演奏し、独特の音色で来場者を魅了した。戸島鯉クラブには久々にぎやかな笑い声や拍手が響いていた。

岡部さんは「地域の方々に利用してもらえてうれしい」と語り、中村さんも「戸島鯉クラブは地域の財産。琴の教室や発表会など、まだまだ利用する余地はあると思う」と振り返った。コンサートに足を運んだ大山久尚さん(61)は「慣れ親しんだ建物に入り、懐かしい思



三味線や尺八などの演奏を披露する「河辺芋んこクラブ」のメンバー

なで建物に入り、懐かしい思なつてほしい」と笑顔を見せに浸ることができた。これからも住民の集まる場所に
(鎌田秀平)